

安全・安心な学校づくり ～みんなで守る子どもの交通安全～

市内児童生徒の交通事故発生状況

昨年度は児童生徒の交通事故が多発し、24年度を大きく上回る29件の交通事故が発生しました(図1)。その発生状況を見ると、登下校時の発生が8件。対して、放課後や土日などの休み中の発生が21件と全体の約7割を占めています。また29件のうち19件が自転車運転中に発生しています(図2)。さらに、児童生徒が第一当事者で発生した交通事故は、29件のうち17件と全体の約6割を占め、その内訳は飛び出しが10件と最も多く、次いで自転車運転の操作ミス、スピード超過などとなっています。

学校・家庭・地域の力でゼロを目指す

毎年各学校では、交通安全教室を小学校1・3・4年生、中学校1年生を対象に開催しています。警察や交通安全指導員による交通ルールやマナーの講話、自転車の乗り方の技能指導などを実施。参加した児童生徒は、真剣なまなざしで安全教室に取り組み、交通安全を学んでいます。



各学校で行われる交通安全教室

またPTA活動として登下校時の交通指導を実施し、交通事故防止に努めています。さらに学校教育課では、交通安全啓発ポスターを作製し、市内小中学校に配布すると

図1 市内児童生徒の交通事故件数の推移

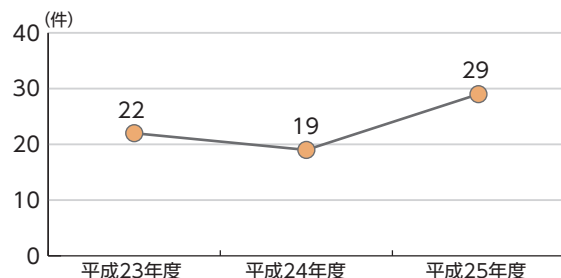
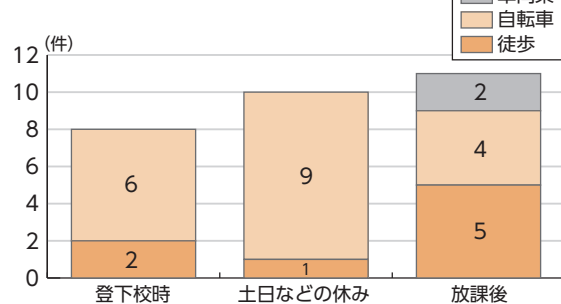


図2 平成25年度 交通事故の発生状況



ともに、朝のパトロールを実施。児童生徒の交通安全に対する意識の向上や、交通事故防止を図っています。

現在、4月から10月末までの交通事故の発生は10件。昨年度の同時期と比べて10件減少していますが、児童生徒の土日などの休みの日や放課後における交通事故が懸念されます。自宅周辺の危険箇所や交通ルールの確認など、日ごろから交通安全に対する家庭教育は最も重要で、交通事故防止に大きな効果が期待されます。

今後も学校や家庭、地域の皆さんと協力し合い、交通事故防止の徹底を図り、市民全体で子どもたちを交通事故から守りましょう。

校長リレーエッセイ

4



今、大切にしていること

第二中学校長
及川 博

今、学校教育、学校経営において大切にしている二つの信条(言葉・格言)があります。それは「平凡の非凡」及び「自主・自立」です。

「平凡の非凡」とは、平凡なことでも繰り返し続ければ非凡なものとなるという意味。元池田高校野球部監督薦文也さんが著書の中で「例えば、夜寝る前に歯を磨く。何でもないことだが、これを毎日続ければ虫歯にな

らない。これが平凡の非凡ぞ」との例を引き合いに「鍛錬は千日の行、勝負は一瞬の行」という言葉と共に、その大切さを訴えています。

「自主・自立」について、ある高校の柔道の指導者が「褒めるだけでは遅くならない。生徒が自分で考え、自分で行動できる力を引き出すための指導に転換して、生徒が力を発揮し、全国大会4連覇につながった」と言っています。また本校陸上競技部で、今年8月に走幅跳で全国優勝を果たした杉村奏笑^{かなえ}さんも、全国優勝できたのは、まさに高い「自主・自立力」にあったと私は感じています。あるとき、陸上競技部顧問に質問をしたところ「杉村さんは自分で考えてできるんです。自分で考えて跳べるから、一度きっかけをつかめば絶対大丈夫です」という頼もしい返事が返ってきました。

大会終了後、私は思いました。人間「自主・自立」していれば、「自主・自立力」が身に付いていれば、本番で実力を発揮できるし、きっと伸びるんだと――。